別紙

**新規格柔道衣（コントロール面・規格面）の説明**

１ コントロール面

男性の線画

中程度の精度で自動的に生成された説明○ 袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。（下記の図 1 参照）

図 １

○ 胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で 10 ㎝未満でなくてはならない。

（下記の図 2 の矢印の部分が 10cm 未満）

○ 上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも 20cm なくてはいけない。

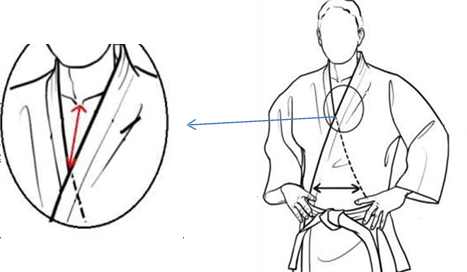
（下記の図 3 の矢印の部分が最小 20cm）

図 2 拡大 図 3

２ 規格面

柔道衣の素材と襟の幅が変更になる。

○ 上衣の 1 ㎡あたりの重量は、現行の 700g～1,000g から 650g～750g に変更となる。

○ 襟幅は最大 4 ㎝とする。また襟は、4 筋縫いであること。

○ 襟は簡単に垂直方向に折り曲げることができる。